

2019年度 錦田研究会（移民／難民の政治学） 募集要項

本研究会は2019年度から開講され、以下の要領で受講生の応募を受けつけます。初年度につき、募集の方法が他の研究会とは異なりますので、ご注意ください。

◆研究会のねらい

この研究会では、人の移動がより活発にグローバル化していく中で、移動当事者や、移動する人を受け入れる国家・社会においてどのような意識が抱かれ、変化が生じているのかについて、理解を深めていくことを目指します。基礎文献を読むことで、議論の枠組みや既存の理論を把握し、具体的な事例分析を通して、個別の事象の位相や、異なる立場の意見の背景を探っていきます。ゼミの後半では、それぞれが設定した研究テーマについて、研究の進捗状況を発表してもらい、研究手法と計画の妥当性についても議論します。担当者の錦田は、現代中東のシリアやパレスチナ難民を対象とした質的研究が専門ですが、他の地域や分野に関心のある方も歓迎です。皆さんの応募をお待ちしています。

◆選考手続き

担当者の錦田の都合により、第一次・第二次統一選考（2，3月）は行いません。代わりに3月29日（金）までに応募書類を以下の連絡先までお送り頂き、それらを踏まえた上で、4月第1週（1日（月）～5日（金））の間に面談を行い、受講生を決定します。面談の場所と日程については、対象者に個別に連絡します。

《連絡先 aiko.nishikida@yahoo.com》

メールの件名は「研究会応募」としてください。受信の確認は4月1日の午後5時までには送りますので、返信がない場合は確認の連絡を取って下さい。

◆応募書類

以下の内容をひとつのファイルにまとめ、MS Word または PDF（A4サイズ、横書き）で作成して、メールの添付ファイルとして上記の連絡先宛に送ってください。

【締め切り 3月29日（金）】

（1）課題

以下の中から文献を選び、その中で特に関心をもった章や事例について3つ取り上げ、それぞれの内容と学問的意義、社会的にそのテーマが重要と思われる理由について、各800字程度（3本合計で2,400字程度）で論述する。

・小泉康一・川村千鶴子編著『多文化「共創」社会入門——移民・難民とともに暮らし、互いに学ぶ社会へ』慶應義塾大学出版会、2016年

- ・ 錦田愛子編『移民／難民のシティズンシップ』有信堂高文社、2016年
- ・ 小井土彰宏編『移民受入の国際社会学——選別メカニズムの比較分析』名古屋大学出版会、2017年
- ・ 移民政策学会設立10周年記念論集刊行委員会編『移民政策のフロンティア——日本の歩みと課題を問い直す』明石書店、2018年

(2) 志望動機

- ・ 氏名、所属学部・学科（専攻）、学年、学籍番号、メールアドレスを記載。
- ・ 移民／難民に関わるどのような課題に関心があるのか、本研究会でどのような研究をしたいのか、その動機と内容、とらうと考えている分析手法（質的・量的、具体的な研究計画）について、先行研究や関連文献をなるべく多く引用して、2,000～3,000字程度で記述する。

◆留意事項

- ・ 当研究会では、法学部政治学科の学生と同様の条件で参加できる場合、他学部・他学科に所属する学生からの応募も受けつけます。
- ・ 海外留学を予定している場合には、具体的な渡航予定時期や渡航先、帰国予定時期についても記載してください。